

## 週日の説教

金 大烈 神父 2010年1月6日(水)

### 《奇跡は復活の信仰が基に働く愛の力》

おはようございます

前回も申し上げたのですが、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの四つの福音書はそれぞれ4人の福音記者の特徴が顕著に現わされています。書簡はパウロの書簡が主立っていますが今日は使徒ヨハネの書簡が朗読として語られています。

では、使徒ヨハネはどういう人だったのでしょうか。一般的には、イエス様に特別に愛された人だと言われています。彼の書簡を通して伝わってくる人柄は、「愛されるはずだ」と思うほど穏やかで、謙虚で、み旨に従う姿勢があり、生まれつきの優しさを持っていた人じゃないかという印象です。

例えば、パウロは恵まれた能力、すばらしい表現力を持っていた人だと思います。そして、靈性の深さは考えられないくらいです。すばらしい靈性を持っている方です。しかし、彼には自分の恵まれた才能や能力を自負する傾向があり、それが彼の十字架として常にあったと思います。一方、使徒ヨハネは私達の憧れを誘うほどの人格の持ち主だったでしょう。

今日の書簡(一ヨハネ4・11-18)は“愛”がテーマでしたね。“愛”についてのこの書簡が、2000年前の遙か昔の世界に書かれたものとは思えません。その時代、この様にすばらしくイエス様のみ言葉を理解した使徒ヨハネは、靈的にも恵まれた方だったと思います。今の時代を生きる私達がどのくらい神の愛について理解し、語り、文字に書き残せるでしょうか。2000年と言う時を隔て、試行錯誤して、今、やっとイエス様がおっしゃった“愛”はこの様なものじゃないかと少し悟る事が出来るようになった時代です。

皆様、いつも私が、赦しの秘蹟について説明する時に「恐れによって赦しの部屋に入らないで下さい。」「“愛”のために入って下さい。」と何回も話して来た事を思い出して下さい。今日私が注目した箇所ですが、使徒ヨハネも今日『恐れは罰が伴い、恐れる者には“愛”が全うされていないからです。』と同じように話されましたね。

この様に日頃の教えを、諭しを、思い浮かべながら使徒ヨハネの書簡を読んで見ますと私達にとって、もっと意味深く助けになると思います。

皆様が、何か理解出来ないところがあれば、「何故、神様はこの様な事を私に与えたのか。」「何故、この世の中には差別があるのか。」「不公平が沢山あるのか。」「何故、罪のない子供が死んでしまうのか。」この様な疑問があれば、答えを探すのに一番綺麗な箇所だと私は思います。もちろん、イエス様の事、神様のみ旨についてより深く理解する為に、使徒パウロの書簡も読んで下さいと進めます。

さあ、今日の福音(マルコ6・45-52)に入りましょう。昨日の福音では、5000人を食べさせたイエス様の奇跡について述べられていました。今日は湖の上を歩かれたイエス様の奇跡について語られています。

では、質問させていただきます。もし、5000人を奇跡によって食べさせなかったら、湖を歩かれなかったら、皆様はイエス様を信じませんか？これらの事が皆様の信仰に影響しますか？これはただイエ

イエス様の宣伝のために、心理的な力を見せる為に、或いは効果的に宣教するために書いたものだったと聞いたら、皆様の今までの信仰は崩れますか？5000人を奇跡によって食べさせたのではなく、昨日お話ししたように組を作って、自分の持っているものを出し合えば、物が無くて死ぬ人はいなくなるでしょうと言う分かち合いの奇跡だったと言ったら、皆様は信仰が崩れますか？今日の湖を歩かれた奇跡も、イエス様は、それだけの能力を持っていらっしゃる方で、それをただ伝える為に作った話しを、聖書に書いたかも知れませんかと言ったら、皆様は混乱なさいますか。

はっきり申し上げたい事は、皆様の信仰は変わりません。この様な話が本当かうそか、物語か史実の事なのか、それも大事な事ではありません。なぜなら、私達は奇跡を唯一つ覚えればいいのです。一つの奇跡を信じればいいのです。私達の信仰はどんな信仰と言いますか？【復活の信仰です！】2000年前にイエスと言う人物が、ベトレヘムで生まれナザレで育って、30才の年齢で社会に出て、色々な事を教えて下さった訳です。人々に説いた教えはご自分の生き方でした。そして亡くなったのです。そして三日後、「ああ、本当だった、あの方がおっしゃった事は本当だった」と復活の体験が出来た訳です。この事によって始めの教会が出来ました。そして、色々な人々が難しさがあっても恐れずに殉教の力を受け入れたのです。その受け入れた力は何処から来たのでしょうか。それは、人々がそれぞれに心の内に、強い体験が出来たからです。「ああ、これが全部ではないのだ。イエス様がおっしゃった全ての事は真実だった。」と言う強い体験だったはずです。ですから、聖書を読むときに注意が必要なのは、信者になって間もない人々です。彼らは、この聖書の言葉に翻ろうされる傾向があります。「これは、あり得ない事でしょう。」「これは、信じてもいい事でしょうか。」と質問して来ます。

皆様、奇跡は【復活の信仰】があって私の内で働かれる“愛”の力を見つける事です。「“愛”によって私達は全てが出来るとの。 “愛”によってどんな難しさも乗り越えられるのだ。」と言う体験、それが、イエス様が2000年前に私達に見せようとした奇跡の内容です。ですから、奇跡の物語に触れる時「何故この事をイエス様が見せようとしたのか」とみ心を思い巡らす姿勢が一番大事な事です。本当か本当じゃないかは意味がありません。

ありがとうございました。